

「名人」へのこだわり

いつもより長い休みが終わり、子どもたちの体調を心配していましたが、休み前と変わらない元気な姿で、令和2年度をスタートさせることができました。

4月6日の始業式、翌日の入学式の挨拶の中で、これまでと同じように「名人」についての話をしました。



- いつでも・どこでも・だれにでも・自分から元気よく挨拶ができる「あいさつ名人」
- 友達に優しく声をかけたり、感謝の気持ちを伝えたりすることができる「なかよし名人」
- 相手の話を目・耳・心・頭（反応しながら）で聞くことができる「ききかた名人」
- 苦手なこと・難しいことにも、諦めないで根気強く取り組むことができる「つづける名人」
- ★進んで学習したり、自分で考えて行動したりすることができる「みずから名人」

今年度は、新たに「みずから名人」を追加しました。「先生の話聞いて、素直に行動する子ども」からレベルアップさせ、「自分で考えて進んで行動できる子ども」にしたいと考えました。素晴らしい結果ばかりを求めるのではなく、子どもたちの前向きに取り組む気持ちを大切にしたいと思います。自分で考えて行動するほうが、いろんなことに気持ちよく取り組めるはずです。

ご家庭におきましても、お子様に声をかけていただき、学校と家庭が協力し合いながら「名人」を目指していけたらと思っていますので、ご協力をよろしくお願いたします。



すでに「ききかた名人」の1年生！

キーワードは、「笑顔」「意欲」「辛抱」

「めざす児童像」のキーワードになっているのが、盈進の【え】がお・【い】よく・【しん】ぼうです。これまで大切に受け継がれてきたものですが、普段の生活の中で意識するのが難しいなあと考えていました。その原因の一つは、「めざす児童像の文言が長い」ということです。素晴らしい児童像であっても、それが子どもに伝わっていないとしたら、とても残念なことです。そこで、もっと短くシンプルにして、インパクトのあるものにして考え、今年度は次のように見直しました。

【え】がお かがやく子ども 【い】よく あふれる子ども 【しん】ぼう かせねる子ども

早速、教室に掲示している「めざす児童像」も変更しました。新しい目標で、1年間じっくり取り組んでいこうと考えています。

いろいろな目標があって混乱しそうですが、それぞれの目標を関連させながら、子どもたちにも丁寧に伝えていきます。

先日、本校を訪れた方から「盈進は、環境に恵まれている。」という言葉をかけていただきました。「一人一人をよく見て、じっくり関わることができるのが盈進の強み」だと思います。これからも、「46名の子どもを全職員で育てる」という気持ちで精一杯頑張っていきますので、今年度もどうぞよろしくお願いたします。

